

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>皆様、こんにちは。 本日は、お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。 只今から、令和3年度第1回上尾市総合教育会議を開会させていただきます。私は本日の進行を務めさせていただきます、市長政策室長の柳下と申します。本年4月に着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、このようにアクリル板を設置しての開催とさせていただきます。 それでは初めに、本会議の設置者であります畠山市長から挨拶を申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>教育委員の皆様には、日々上尾の教育の発展のためにご尽力を頂き心から感謝申し上げます。</p> <p>さて、明後日23日に開催される東京オリンピック開会式に先立ち、57年ぶりに聖火が上尾にやってきました。</p> <p>最終ランナーである保育士の永田さんが、「応援してくれた子ども達や見てくれた人にも希望と勇気を与えられれば嬉しい」と語っているとおり、私も含め多くの人々が希望と勇気を分けてもらうことができたと思っております。</p> <p>さらに、8月6日には、上尾東中学校出身の岡田久美子選手が陸上女子20キロメートル競歩のレースに出場しますので、皆さんと一緒に応援していきたいと思っております。</p> <p>本日は今年度初めての総合教育会議となります。前回会議では、「教育分野の課題は、根が深く、複雑に絡まっている。その絡まった根を解きほぐしたい」と私から挨拶させていただきました。</p> <p>今回の議題である「教員の働き方改革」も同様に、教員の皆さんを苦しめている要因が何なのか、どこに問題があるのかを解いていきたいと考えています。</p> <p>また、2つ目の議題でも取り上げますが、千葉県八街市で発生した通学路での事故には、大変ショックを受けています。</p> <p>先日、危険箇所の再点検を指示させていただいたところですが、教育委員会やPTAの方々とも協力し、それぞれができる対策を講ずる必要があると考えています。</p> <p>今回からは、谷島さんが新たに委員に加わり初めての会議となります。これまでの知見をお借りし、今後も、皆さま方との連携を一層強化していきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>4月1日付けにて谷島大様が新たに上尾市教育委員会委員にご就任されました。</p> <p>そこで、大変恐縮ではございますが、谷島様に自己紹介をお願いし</p>

<p>谷島委員</p>	<p>たいと思います。</p> <p>皆様おはようございます。4月より教育委員を務めさせていただくことになりました、谷島大と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>まだまだ分からないこと、不慣れなことが多く、何かとご迷惑をおかけすることが多いかと思いますが、今後、勉強を重ねまして、教育委員として、少しでもお役に立てるよう努力してまいりますので、何卒ご指導のほどよろしくお願いいたします。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>ありがとうございました。本日はよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、早速ですが、要綱の定めにより議事を進行させていただきます。皆様のご協力をお願い申し上げます。</p> <p>初めに、本会議は原則公開となっております。本日、傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>4名いらっしゃいます。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>只今から傍聴者に入場していただきます。事務局は傍聴者を入場させていただきます。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>傍聴者に傍聴上の注意を申し上げます。</p> <p>先ほどお配りしました「傍聴に当たっての注意事項」をよくお読みいただき、遵守するようお願いいたします。注意事項に反することがあった場合には、退場していただく場合がありますのでご了承願います。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>それでは、議題(1)「教員の働き方改革について」でございますが、昨年度の第2回総合教育会議におきまして、時間の都合上、議論を延期させていただきました議題となります。</p> <p>はじめに学校教育部長から、教員の勤務実態や、その分析について説明をお願いします。</p>
<p>教委事務局 (学校教育部長)</p>	<p>教職員の働き方改革につきましては、年度当初、県教育委員会教育長も教職員の負担軽減と健康管理は最重要課題として挙げられており、本市におきましても、平成31年度から導入していただいた在校時間を管理する出退勤システムを使って、これで3年目の運用となりますが、教職員が学校に出勤した時から学校を出る時まで、いわゆる在校等時間を記録し、実態を正確に把握し、在校等時間の適正化に努めているところでございます。</p> <p>お手元の資料をご覧ください。勤務時間を除いた在校等時間が80時間を超える教職員の直近3年間の6月の状況を示したものです。勤務時間を除いた在校等時間の上限時間は、月45時間、年間360時間以内ですが、現状は大変厳しい状況にありますことから、過労死ラインともいわれている80時間は超えない、80時間超えゼロを目指して取組を進めているところでございます。具体的な取り組みといた</p>

に販売することなどといった工夫も始めようと考えています。

それから、4月から5月にかけて家庭訪問がありました。それぞれの家庭の場所だけを確認している。運動会は午前のプログラムで終わりとする。それから、いろいろな指示伝達をデジタルで行うということで、日々の学校生活の中でできることを、職員と案を出しながら、小さいことを積み重ねることでもいいからやっつけていこうという、各学校が本当に忙しい仕事の中で、先生方が頑張っていて改善を図っています。デジタル教科書があるので、昔と比べると手作りの教材教具の作成時間は省けるのかなと感じる。あとは先ほどもお話がありましたけども、スクールサポートスタッフの配置がありましたので、印刷業務等は軽減したり、保護者への配布文書はメール配信が可能で、アンケートを実施したり、健康観察欠席連絡などもそのメール配信で行うことで業務軽減できていると感じます。私は小学校の教員だったので、改善の方策としては、日々話を聞いていると、何しろ仕事が多いんですね。改善を図るために、まずは教員の授業の持ち時間が多すぎると私は感じています。結局、授業の持ち時間をたくさん持っていることで、放課後に事務仕事や会議、研修をする時間が本当に無く、厳しい状況です。そういうことであれば、教員の配置がされるといいなと思いますけど、予算の関係もあるので難しい。小学校でも学年にプラス1名の教員の配置がされると、一つの動き方改革になるのかなと思ったりしますが、あとは先生方の意識だとかスキル、こういうものを向上させたり、育てながら、業務遂行の最適化に取り組まなければならないと考えているというお話を聞きます。時間だけを追って指導するという事はなかなか難しいと思います。実際に先生方がやらなければならない仕事はたくさんあります。それから放課後に不登校やいじめの対応、その問題が起きて、保護者が学校に来た場合には対応しなければならず、生徒指導や教育相談の会議なども日常的に開かなければならないということで、今の時代は昔と違って、非常に時間を割かなければならない。子供たちのためには、そういうことが重要なことになっているので、時間を持って指導するだけではなくて、それが可能になるために何をしたらいいのかということを経験して、働き方改革に取り組んでいるという話を聞いております。

司会
(市長政策室長)

ありがとうございます。
他の委員の皆さんにおかれましても、PTA 活動などを通じて学校と関わる中で、感じていたこと等をお伺いできればと思います。

内田委員

保護者からしてみると、教育の質を落として欲しくないという思いがあります。先生方には早く帰っていただきたいと思いますが、その先生たちの業務を短縮して、そしてよりよい教育していただくためにはどうしたらいいのかというところが問題になってくるのではないかと感じております。例えば教科担任制の導入や、部活動支援員を増やしていただくとか、やはり人材不足ということを感じます。ただ、人材を増やすとなると財政的には難しいという返事が返ってきてしまうのですが、では働き方改革、子供の教育を考えながら先生方の働く時

<p>大塚委員</p>	<p>間を短くしていただくには、やはり人材を増やしていただくということが、一番ではないのかなと感じているところです。</p> <p>予算的な問題はあると思いますが、ぜひそこら辺のところも、その予算の中に組み入れていただけたらなと思います。</p> <p>人材、人の部分というのを補っていかなくてはならないことがたくさんあると思います。本業の教育をしていくという部分は先生方に、あとは外部の方を入れる部活動指導員もそうですが、やはりそういった外部の方を入れて補助していくということを本当に大きくやっていただきたいなと思っております。</p> <p>やはり教員の魅力、職業としての魅力がなくなると優秀な人材が教員にならないということが大きく出てきてしまうと思います。ぜひそういった部分というのは上尾だけの話ではないですが、優秀な人材を教員として採用するために整備をしなくては、教員の負担が減らないと思いますので、よろしくお願いします。</p>
<p>小池委員</p>	<p>私の自宅が中学校に近く、仕事が終わって帰ってから夜に犬の散歩に出ると、中学校の校舎の電気が煌々とし、職員室はほとんど毎日のように光っているのですが、PTA 会長をやっていたときもそうですが、例えば先生は授業が終わった後に部活動があり、その後の業務も多くあると思います。特に中学校ですと、中学校3年生を持っている担任の先生方は、学年末なると、高校受験などがあり、業務が重なってきて大変なことになります。内田委員が仰ったように、なかなか人材を探すのは難しいと思いますし、財政的にも厳しいとは思いますが、先生の負担ではなくてもできる部分を市が支援しながらやっていかないと、なかなか時間を減らすことは難しいのではないかなと。</p> <p>教育にかかる時間は、なかなか減らせないと思うので、そこを減らしてしまうと教育の質が落ちてしまうと思うのです。そうではないところで、できるところはなるべくやって、事務時間を減らすことを考えていかなければ厳しいのではないかと私は思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>今皆さんが、仰ったとおりだと私も思っております。働き方改革で、現状がとにかく残業時間が多い、片やいじめ問題や不登校問題については、減っているかというと逆に増えている。原因は何なのだろう。私もまだ、十分に分かっていないことが多くありますし、なぜそうなったのか真剣に対応していただくことが、大事かなと思っております。教育委員会では様々な手を打って対応しているという報告がありましたが、何しろ行事が多くて大変という現状があって、研修する時間もなく、スキルアップできない。しかし、教育の質は落とさずにしっかりやる必要がある。</p> <p>私も同じ気持ちですけど、教育委員さんとも一緒になって、真剣になって考えていただければありがたいです。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>市長の方から、先生方の時間を割いてしまう要因が何なのかについて触れられました。クラス運営なのか、部活動なのか、保護者の対応</p>

<p>中野教育長職務 代理者</p>	<p>なのか、この点についてはどうでしょう。</p> <p>小学校と中学校は違いますが、小学校の場合は、不登校やいじめの対応、教育相談的な対応、生徒指導の対応が非常に増えてきていると感じます。その対応に教員1人がかかりきりになると、心が疲弊してしまうと思うのです。</p> <p>ですから、外部の、例えば教育センターのスクールソーシャルワーカーが関わるとか、教員ではない専門的な力を持った方を学校教育の場に投入していく。そういう人材をどう集めるかという問題はありますが、積極的にそういうこと進めることが大事だと思います。</p>
<p>谷島委員</p>	<p>話題がずれるかもしれませんが、地元の小学校で、数年前から地域の学校応援団活動をやっているのですが、地域の力、地域のボランティアの力で何か学校の役に立てることがないのか、取り組んでいます。当然、専門的なことは難しいですが、地域の方々の意欲をうまく活用し、業務負担軽減の一助になればと思っています。しかし、なかなか学校の先生方の仕事内容は分からないことが多く、実際には何かお手伝いできることがあるのかもしれませんが、何をしたらいいのか、意欲はあっても何をしたらいいのか、そのコーディネートは難しいところですが、もっともっと活用できる力はあるのかなと感じています。</p> <p>とても難しいのですが、良かれと思ってやったことが逆に先生方の負担になってはいけないと、常に意識して見ているので、簡単ではありませんが、一つの糸口にはなるのではないかと。先生方の意見や希望がもっと地域に見えてくると良いと思います。</p>
<p>中野教育長職務 代理者</p>	<p>別の視点から言うと、仕事の効率を向上させるには、先生方の心の安定、精神の安定、これが最も大事だということで、計画的に年に何回か先生方に休暇を取ってもらうということもよく聞きます。</p> <p>校長先生も、先生方の心の部分に着目をして、何か取り組みができないかなということは仰っていました。</p>
<p>大塚委員</p>	<p>会議前に教育長と少しお話をしていた中で、部活動の関係というところではありますが、コロナ禍で中学校の部活動の指導ができない時期があり、単純にその時期は在校等時間が減ったということを知っていますので、やはり現場にはそういう種がすごくたくさんあるのだなと思いましたので、実際に話を聞いて、現場の意見を取り上げて、それを実行に移すということもぜひやっていただきたいと思います。</p>
<p>内田委員</p>	<p>極端な意見ですが、例えば中学校の部活動について、日曜日は実施しないとか、そういった決まり事にしないと、教員の時間数的には難しいのではないかと思います。もし土日に実施したいのであれば、土曜日だけにするなどといった対策を取る必要があると考えています。</p>
<p>教委事務局 (学校教育部長)</p>	<p>部活動の実施方針につきましては、定まっております、土日のどちらかということになっております。また、大会前は少し崩れる場合</p>

	<p>もありますが、月曜から金曜日のうち1日は休養日を入れるということで、概ね適正に実施しております。</p>
<p>内田委員</p>	<p>土日どちらかとなっても、土日両方とも学校は空いているわけですね。そうすると例えば教頭先生が両日出勤することになるのかと感じてしまったので、どちらかに定めた方がいいのではという視点で意見させていただきました。</p>
<p>副市長</p>	<p>先生方がこれだけ多忙になっているのは、やはり先生への期待が大きくて、たくさんのことを要求しているからだと思います。それは保護者も含め、社会全体が学校に対していろんなことを期待している。小学校で英語まで教えてくれるような時代になってきました。</p> <p>今朝の新聞にも載っていましたが、教科担任制を小学校に広めていくべきではないか、体育にだっていいのではないかと載りましたけれども、可能な範囲で教科担任制を広げていくことも必要でしょうし、35人学級にすることで先生方がある程度目配りできる時間を増やすこと、あるいはIT技術、先端技術を使って効率的にやって、保護者との情報交換をリアルタイムにできるようにすること。徐々に進んでいるのですが、これだけお忙しいのはやっぱりその期待値が大きく、それに先生方が一生懸命に応えようと思って、結果としてこういう状況になっているので、なかなかその中で先生方も難しいと思いますが、少しでもメリハリをつけていただいて、全てを全部100点満点でやるのはなかなか難しいです。</p> <p>私自身もPTA会長もやりましたが、小さいころを振り返ってみると、学校に全てを教えてもらいたいと思っているわけではなくて、学校に生きる知恵みたいなものを教えていただいたような気がしています。先生方の指導や友達との交流の中で学べることができれば良いのだらうと思っているので、ぜひ学校の特色はあると思いますが、様々な技術を使いながら、あるいは市役所としては必要な人材を、一つの学校だけでは募集できなければ、全体として募集するような仕組みでお手伝いすることが必要なのかもしれない。</p> <p>いずれにしても、なぜ忙しいかということ、期待値が大きすぎて、先生方もそれに努力していただいている。あえて言いたいのは、私は保健医療という世界にいたものですから、病院の先生方、いわゆる勤務医という、開業医ではなくて、通常の大学病院と病院勤務医は、桁外れな月200時間を超えるような仕事をしていて、病院に患者さんが運ばれてきて診ないわけにはいかない。そういうことから比べれば間違いなく良いですけれども、通常の公務員の世界からすれば先生方も異常なほどの勤務時間である。それを一気に解決できないまでも、先ほど中野委員が仰ったように、一つ一つ取り入れられるのは取り入れて、少しでも負担軽減していく努力を積み重ねる必要があると私は思います。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>市長はいかがでしょうか。</p>

<p>市長</p>	<p>各委員のご意見は、大変大事なことであると思います。今の段階で、これだということではないと思いますけども、多くの貴重な意見をいただきましたので、市としても、何ができるかを考えていきたい。</p> <p>まずは月80時間を超える要因への対応を取れるようにこれからも調査研究をしていただきたいと思います。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>他に無いようでしたら、議題(2)「登下校の安全について」に移ります。</p> <p>去る6月28日、千葉県八街市において小学生が巻き込まれる悲惨な事故が発生したことを踏まえ、対策が急がれるところでございます。上尾市では、毎年PTA連合会の皆様から「危険箇所改善要望」が出されておりますので、その内容や対応状況について、事務局から説明をしたいと思います。</p> <p>また、本日は安全対策の実施に向けて作業を進めている交通防犯課長と道路課長が同席いたします。</p>
<p>事務局 (市長政策室次長兼課長)</p>	<p>お手元の資料2-1をご覧ください。</p> <p>①平成31年度のPTA連合会からの危険箇所要望内容です。上尾市PTA連合会では、毎年春に市内小中学校PTAから、通学路をはじめとした危険箇所の要望を取りまとめ、6月ごろに市に対して要望書として提出しております。</p> <p>市では、広聴の窓口である広報広聴課が収受し、担当課に繋いでおります。</p> <p>担当課は、要望内容について、現地の状況を確認し、市で対応が可能な内容か否か、さらに国や県といった関係機関に繋ぐべきものかなどを精査します。</p> <p>平成31年度は、延べ168件の要望をいただいております。その内容はグラフの左から多い順に並べて「信号機の設置・改良」が56件と全体の3分の1を占めています。次に「道路改良・塗装」が16件、「横断歩道の設置」が15件と続きます。</p> <p>市としては、できる限りの対応を進めているところですが、要望の多くを占めている信号設置や横断歩道、スクールゾーンの設置などは、警察との協議案件となりますことから、ご要望に十分に答えられないことも生じています。</p> <p>その後、広報広聴課では、関係各課の回答を取りまとめ、年内をめどにPTA連合会に回答をしているところです。</p> <p>なお、令和2年度は、コロナ禍により要望活動は休止となりました。令和3年度は、さる6月24日付けで、のべ190件のご要望が提出されました。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>続きまして、八街市の事故を受けて教育委員会では改めて各校に対して危険箇所の追加調査を行いました。その内容について学校教育部から説明をお願いいたします。</p>

<p>教委事務局 (学校教育部長)</p>	<p>千葉県八街市の事故を受けまして、県教育委員会教育長から「登下校時における児童生徒の安全確保について」通知があり、これを受け、お手元の資料2-2のとおり、上尾市教育委員会教育長から通学路における危険箇所について、危険な状況、必要な安全対策、利用する児童生徒数などについて再点検の通知をしております。なお、年度当初、学校とPTAによる通学路危険箇所改善要望書を提出していただいたばかりであるため、今回は追加箇所を上げていただきました。追加で上がったものは34件で、グリーンベルト、信号、横断歩道等の設置要望で、現在、各課と連携して対応について精査しているところでございます。</p> <p>また、この通知のほか、校長会議で教育長から児童生徒への交通安全指導についても話をさせていただいております。</p>
<p>市長</p>	<p>本件について、市としても速やかに対応する必要があると強く認識しております。私からは八街市での事故翌日に、2つ対応させていただいております。1つ目は、市内の通学路の危険箇所を再点検すること、2つ目は、早急に実効性のある対策の実施に向けた検討を行うことを各部に指示したところ です。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>それでは、それぞれの対応状況について担当課から説明をさせていただきます。</p> <p>初めに交通防犯課の小川課長からお願いいたします。</p>
<p>交通防犯課長</p>	<p>交通防犯課では交通安全施策の中で道路照明灯、道路反射鏡、道路の区画線標示の大きく三つを所管しております。現在の対応状況の説明に入ります前に、これまで交通防犯課で行ってまいりました対応状況について配布資料を基に説明をさせていただきます。</p> <p>資料2-1、下段の②をご覧ください。平成30年度から令和2年度までの直近3年間、交通防犯課においてお受けしたPTA連合会を含む要望に対する対応件数を示したものでございます。道路照明灯の設置につきましては、原則、自治会長を通じた要望に基づくものです。この中で路面標示については、令和2年度の要望に対して実施数、実現率が例年と比較して若干低くなっていますが、対応した決算額而言いますと、例年とほぼ同様となっています。</p> <p>続きまして、この度、市長から通学路の緊急安全対策に関する指示を受け、今年度のPTA連合会からの要望を中心に、対応箇所の洗い出しを行っているところです。</p> <p>いずれにいたしましても、悲惨な交通事故を防止するため、交通防犯課としては、今まで以上に通学路の安全対策について積極的に推進してまいりたいと考えています。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>続いて道路課の北島課長からお願いいたします。</p>
<p>道路課長</p>	<p>交通事故防止のため、歩道の整備、信号機、道路白線、グリーンベ</p>

	<p>ルトの設置などの要望が、PTA 联合会や地元自治会から提出されております。なお、PTA 联合会などからの要望に加え、見通しの良い道路で車の速度が上がりやすい箇所や、大型車の通行が多い箇所など、市としても危険と思われる箇所も追加しています。これらの箇所につきましては、関係部署と連携して、緊急性の高いものから対応していきたいと考えております。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>各方面から多くの要望が挙げられていることが分かりました。一方、対策を行う事業主体が警察であったり、国や県との調整が求められるものもあり、市だけでは要望に応じきれないケースもあります。そこで、委員の皆さんが、これまで教育現場やPTA 活動を通じて、「このように対応した・工夫した」といったご経験について、是非共有したいと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>内田委員</p>	<p>工夫したことと言われるとちょっと発言しづらいのですが、やはりPTA として毎年のように、確かに危険箇所要望を出しております。</p> <p>ただ、10年経っても変わらないということが、ほとんどのPTA の意見ではないのかなというところがあります。以前、PTA として質問をしたところ10年経って直らない箇所は難しいとの説明がありました。</p> <p>ミラーは設置していただけたことはあるのですが、ミラーに木が茂って見えなくなっている箇所ですとか、白線の部分でも、上尾市で本下水の工事をした部分だけは白く綺麗になっていて、それ以外のところはほとんど見えない状態になっていることがあります。</p> <p>スクールゾーンについては、児童が通過した後の時間帯がスクールゾーンの時間帯になっている箇所もあり、その把握がどうなっているのか疑問に思っています。PTA の立場ですから、なかなか改善点について、見つけられるところというのは無いですが、改善していただきたいという要望は多分たくさんあるように感じております。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>スクールゾーンについて最近変更した箇所はありますか。</p>
<p>交通防犯課長</p>	<p>大谷小学校について、通常は午前7時30分から8時30分の規制が一般的なところ、午後の下校時間帯についても今年の3月に設置したものが直近の事例です。</p>
<p>小池委員</p>	<p>PTA をやっているときに感じたことですが、例えば、登下校のルートは決まっていますが、別のルートを通ればもっと早く行けるので、そこにも信号を設置していただきたいと要望を出しても、信号の間隔が近すぎて設置できないと言われ、要望が通らないこともあります。</p> <p>見通しの悪い通学路では、民間のお宅の樹木が通学路側に生い茂っていて、剪定してほしいと要望しても、相手が民間ということで要望が通らず、いつまでも見通しが悪いままということが続いている現状があり、毎年、ただ要望を出しているだけになってしまっていること</p>

<p>大塚委員</p>	<p>が多いです。相手が民間なので難しいとは思いますが、相手にも費用がかかりますし、なかなか地主の方にすぐ対応しますと言ってももらえないと思うので、そこに補助金を出しというようなことも考えながら、少しでも危険箇所を減らしてほしいと思います。</p> <p>私はPTA 連合会の関係をさせていただいたときも毎年150件を超える要望を出していましたが、その中でだいたい毎年対応いただける数が3件くらいでした。新しい案件が出てくれば要望に加えるのですが、学校では毎年同じ要望を出しています。</p> <p>平成31年でも要望件数が168件を超えており、当時と比較しても、あまり状況は変わっていないのだろうと正直思っています。ただ、幹線道路や車の通りが多い箇所については、手をつけるのかもしれないませんが、裏道や抜け道で車のスピードが上がっている状況というのは、やはり、地元の方でないと分からない部分も多くありますので、そういった声を受け取っていただき、実際に危険箇所が少なくなることを望んでおります。そういった声を真摯に受け止めていただきたいと思っています。</p>
<p>谷島委員</p>	<p>大塚委員と同じ議論でもありますが、毎年同じような要望を出して、なかなか実現しない。ただ、そういう中で、地域で防犯見守り活動が広がってきて、地域の方々が一緒になって、今もボランティア活動に参加していますけれども、自治会長、地域のボランティア団体、議員、そういった方々で連絡会議を持つようになり、PTA だけで動いたときは、がむしゃらに「なぜ設置してくれないのですか」といった感じでしたけれども、信号はこの間隔では設置できないといった理由があれば、毎年同じ要望をしても意味が無い。そうであれば、もっと実現しやすいものを、数を絞って要望していくといった戦略を立てながらやっていく。だからといって要望が劇的に叶ったわけではありませんが、少し以前とは感じ方は変わってきています。</p> <p>いずれにしても、八街市で大きな事故があって、総理大臣からも指示が出たような事態。事故があってからでは遅いですが、こういうときだからこそ、何か具体的に数字として、実現させるものが出ないといけないタイミングなのかなと思うので、知恵を出し合って、改善して欲しいなと思っています。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p> <p>交通防犯課長</p>	<p>特に信号機の要望が多かったようですが、県内で信号機が年間どの程度設置されているのでしょうか。今でも県全体で一桁程度ですか。</p> <p>PTA 連合会からの今年の要望約190件のうち、交通防犯課が窓口となる案件が約150件、このうち約90件が信号機や横断歩道に関するものです。これらの要望は所管する埼玉県警察に申し伝えさせていただいておりますが、年間でも県内の信号機の設置件数は、最新の状況ではありませんが、数カ所程度とのこと。</p> <p>上尾市内に1カ所でも設置されるということは、極めて稀なことと捉えています。いずれにしても、信号機の設置も同様ですが、横断歩</p>

<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>道に関しては、県でも、「KEEP38 プロジェクト」として、道路交通法第38条により「横断歩道は歩行者優先」というような取り組みを行っていますので、そういった観点から、ドライバーに対しての周知について、市としても検討して推進したいと思います。</p> <p>最近の道路現状について、道路課長から簡単に説明をお願いします。</p>
<p>道路課長</p>	<p>通学路以外の道路についても、登下校で通るとのお話がありました。特に中学生につきましても、特に決まったルートが決まっていないと思いますので、小学校の通学路以外にも、比較的中学生が多く通るルートの危険箇所についても調査しています。</p> <p>危険箇所改善要望の傾向としては、市の西側の基盤整備、区画整理が進んでいる地区については少なく、比較的、基盤整備が遅れている地域や、調整区域については改善要望数が多い状況です。ある程度、地域の状況を見ながら改善を進めることになると思います。</p> <p>ただし、基盤整備が遅れている地域の要望内容については、道路改良、道路の拡幅に合わせた歩道整備をお願いしたいというものが多いです。道路改良には時間がかかってしまうので、何ができるのかを考えると、短期間で対応できる路面標示等での対応が主になると道路課では考えています。</p> <p>いずれにしても、学校保健課と交通防犯課、道路課の3課で協議を詰めていきます。</p> <p>今、ポストコーンというものがあまして、幹線道路のカーブで、歩車道境界ブロック等がない箇所、グリーンベルトが引いてあるだけの箇所については、ハンドルを切りすぎて突っ込んでしまう恐れがありますので、ポストコーンで明示をしています。ただし、ポストコーンでは物理的に歩行者を守ることはできないので、ガードパイプの設置が良いのかも含め具体的な検討を進めています。</p> <p>ガードポールにすると、自転車やバイクが衝突した際の安全面に難がありますし、近隣にお住いの方々の生活にも影響を及ぼすこともありますので、十分に調整をしながら、整備する必要があると考えております。</p>
<p>中野教育長職務 代理者</p>	<p>私が以前勤務した学校の近くにも設置してあり、危険が回避されると感じていたので、検討してほしい。</p> <p>スクールゾーンという規制もありますが、登校時間を変えた学校がありまして、7時40分登校だったものを8時15分に変更した例があります。7時40分登校の頃はスクールゾーンの規制時間外に通過する児童がいましたが、変更したことで全員がスクールゾーンの規制時間内に通過できるようになりました。登校時間の変更により安全な登校が可能となったということですが、これは教員の働き方改革も含めた考え方のようなのです。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。説明の中で確認しておきたいことはありま</p>

<p>(市長政策室長)</p> <p>小池委員</p> <p>教委事務局 (学校教育部長)</p> <p>市長</p> <p>司会 (市長政策室長)</p> <p>教委事務局 (学校教育部長)</p>	<p>すか。</p> <p>大谷小学校の通学路にある民地ブロック塀にひびが入っていて、道路側に傾いてきている。地震があれば崩れるような状況のところがあ ります。まず、道路上に木が茂って見通しが悪いので、自治会長にお 願いをして、そのお宅に木を何とかしてもらえないかお話に行きまし た。角地なので2面あるのですが、片面は剪定していただけたので すが、一方の面は剪定してもらえず、そのお宅の方に何とかしてほしい と伝えたら、門前払いをされてしまった。</p> <p>その後、ブロック塀も倒壊も心配なので、対応してほしいとお願い に行っても、全く対応していただけない。それで困ってしまって、お そらく市にも相談に行ったと思いますが、難しかったようで、私のと ころに連絡をいただいた。実際に現場を見ましたが、確かにブロック 塀が、高さ150センチメートル程度ですが、地面から上まで亀裂が 入り、長い距離で倒れかかっている。さらに樹木が両方から生い 茂って見通しが悪い。小学生が登下校時に通る。対応するとしても、 民地なので相手に相談するしかないのですが、お金が無いから対応で きないと言われてしまうので、そこを市として何ができるのか相談し て進めたいと思っている。なかなか危険箇所改善要望として出しても、 要望に含まれているか分かりませんが、現実的に本当に危険な場所が 存在します。</p> <p>ブロック塀については、大阪北部地震での事故を受けて、点検をし たところではありますが、改めて状況を確認します。</p> <p>今の件について、どの程度の危険性があるのか、すぐに状況の確認 をお願いします。</p> <p>各委員の皆さんから多くの意見をいただきました。ありがとうございます。 八街市で痛ましい事故が起きてしまいました。子ども達を守るため、市としては教育委員会、警察、道路管理者とも連携し、補正 予算の編成等も含め、しっかりとできる限りの対策を打ってまいりたい と考えております。</p> <p>それでは、その他として、はじめに学校教育部から、不登校及びい じめの件数について報告をお願いいたします。なお、今回は件数報告 のみとし、議論は次回以降とさせていただきます。ご了承ください。</p> <p>資料3をご覧ください。不登校の状況につきましては、資料の上の グラフをご覧ください。不登校に関する相談件数は、年々増加してお り、前年度比1割強の増加となっています。そのほかの、不登校に関 するデータにつきましては、別にお配りした黄色いリーフレットにま とめましたのでご覧ください。</p> <p>また、資料3の下のグラフは、今年度6月末時点でのいじめ認知件 数及び解消件数の状況でございます。</p>
--	--

<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>続いて、現在、各地域で開催している上尾市学校施設更新計画基本計画に関する地域説明会について、教育総務部から経過報告をお願いします。</p>
<p>教委事務局 (教育総務部長)</p>	<p>7月3日から開催している、学校施設更新計画に関する地域説明会について、今週末25日の開催が残っておりますが、これまでの状況を報告します。</p> <p>これまで5ヶ所で延べ11回の説明会を開催し、延べ257人の方々が参加されました。今週末25日には残る大谷公民館での2回の説明会を予定しております。</p> <p>説明会でのご意見を報告したいと思います。</p> <p>学校再編後へのご意見として、「小中一貫校は導入すべきではない」「先進国は20人学級などを導入している中、少人数学級とすべきである」「小規模校は、子供にとっても良いことが多く、教員にとっても働きやすい」「大規模になると目が届かなくなり学校が荒れる」「学校は避難所など地域のコミュニティの核である」などのご意見がありました。</p> <p>基本計画へのご意見として「お金の問題ではない」「子供の教育、将来のことを考えるべき」「先のことを今決める必要はない」などのご意見がありました。</p> <p>一方、現在、小規模校に通わせている保護者からのご意見として、「現在、子供が小規模校に通っているが、様々な課題があり、適正な規模の学校に通わせたい」「高校に行ったら戸惑うと思う」「大きな学校が隣にある中、不公平である」「部活動も格差がありすぎる」などの意見がありました。</p> <p>再編案の検討に当たってのご意見として、「保護者や教員など幅広く意見を聞いてほしい」というようなご意見がありました。</p> <p>その他、事務局が示した財政上のコストシミュレーションに対するご意見、学校の形、再編案につきましても、各地区の皆様から地域の実情などのご意見を頂戴しております。</p> <p>教育委員会としての方針として一貫してご説明していることは、「今回の地域の説明会や、この後に、各学校の保護者へ説明を行い、さらには各地区の自治会連合会にもお邪魔をさせていただき、地域の実情や、歴史、コミュニティに関する地域の皆様のご意見など幅広く伺いながら、学校の形、再編案を検討していきたい」「そして検討した再編案については、改めて地域説明会を開催して説明したい」という旨を説明しております。</p> <p>また、当初は9月に予定していた各エリアでの検討協議会については、一通りの説明と、再度の地域説明会を行った後の設置を考えていることをお話しています。</p> <p>今後のスケジュールですが、7月の地域説明会の後は、市内33校の保護者に計画内容を通知するとともに、計画の概要につきましても、33校において説明会を開催することを予定しております。また、これに並行し、各地区の自治会連合会の会議にも出席をさせていただき、地域の実情や歴史などのご意見を伺っていきたくと考えております。</p>

	<p>そして、地域のご意見を踏まえた再編案を関係部署とも調整を図りながら検討を進め、その後改めて地域での説明会を行った後に、各エリアでの検討協議会を設置し、再編に向けた議論を開始したいと考えております。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>更新計画案を提示しまして、地域の意見を伺いながら、議論を深めたいという報告でした。それでは最後に、次回の会議につきまして、事務局の方から説明させていただきます。</p>
<p>事務局 (市長政策室 次長兼課長)</p>	<p>次回の会議の予定につきましては、秋以降を予定しておりますが、定例教育委員会に併せて開催したいと考えております。また、時期が近くなりましたら、ご連絡申し上げたいと思いますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>これで議事はすべて終了いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。 それでは、会議の閉会にあたり、教育委員会を代表いたしまして、池野教育長からご挨拶をいただきたいと存じます。</p>
<p>教育長</p>	<p>本日は教育委員さんが市長とご意見を交えていただいて、現状を把握されている中で、いろいろとご意見をいただきましてありがとうございました。 働き方改革につきまして、一言触れさせていただきますが、あまり一気に、今年度中にとというのは難しいかと思いますが、少しずつですが、学校も変わってきて、それから学校を取り巻く外部の社会の方も少しずつ認識が変わりつつあります。その中で、少しずつではあります、いい方向に進んでいると思います。一気にというのは難しいですし、また根本から直すといっても、なかなかそれも難しい中でやはりそれぞれが知恵を出し合って、できることから進めるしかないと思います。 一つ例を申し上げます。私が若い頃、教員になったばかりの頃、小学校においても中学校においても、これほど多く微に入り細に入り先生方がやっているというのも、昔は無いものが今たくさんあります。例えば、その中で一番大きいものは、毎朝子どもたちに提出をさせて、帰りまでに全て目を通して、必ず何らかのコメントを入れて、帰りの会までに子どもたちに返すことです。これは中学校でも学校によりますが、中学校の教員もされていて、小学校の先生は基本的には空き時間がありません。それだけ時間がない中でやっていただけることは大変ありがたいことですが、これを続けていては、なかなか帰れないという状況は改善できないのではないかとということで、本市の校長先生方の中で、もう思い切って、全部とは言いませんが、いくつかを検討して廃止し、その結果、先生方に多少ですが余裕が出てきていることも報告いただいています。 このように少しずつですが、改善の方向には向かっているのだろうと思っております。まだまだ良い結果ではないと思いますが、これか</p>

<p>司会 (市長政策室長)</p>	<p>ら更にこのような機会があれば、お互いに意見を交わして、知恵を出し合っていくしかないと思っております。</p> <p>本日は本当に大事なものばかりが議題でしたけど、次回以降、また検討するということなので、楽しみにしたいと思います。本日はありがとうございました。</p> <p>ありがとうございます。皆様、お疲れ様でした。以上で令和3年度第1回上尾市総合教育会議を閉会いたします。</p>
------------------------	---